

# 第8回 2011 守山 ほたる

パーク&ウォーク

2011 5/28(土)~6/12(日) ガイドマップ

がんばろう 日本 初夏の夕暮れ時、ほたる観賞とまちなか探検はいかがですか？

## ホタルを観賞するときのお願い

- 子どもだけでなくおとなと一緒にいきましょう。子どもだけの観賞は危ないので保護者の方が必ず同伴ください。
- ホタルを捕らないてください。ホタルは観賞するだけにしてください。捕まったり持ち帰ったりすると、新しい命へつなげることができなくなります。来年も会えるように応援してあげてください。
- フラッシュ撮影はしないでください。ホタルは明るい場所が苦手な生き物です。
- ごみは必ず持ち帰ります。ごみは必ず持ち帰ってください。
- 静かに観賞しましょう。夜間ですので、話し声による騒音が近隣の住民への迷惑にならないようにご配慮をお願いします。
- 三津川河川公園・散策路には駐車場がありません。三津川河川公園には駐車場がありませんので、マイカーでホタルを観賞される方は、市民運動公園内の「市民球場横第3駐車場」をご利用下さい。違法駐車は地域の皆様に迷惑をおかけしますので、所定の駐車場にお止め頂きますようお願いいたします。

# ほたる

パーク&ウォーク GUIDE MAP

**ほたるの森資料館**  
〒524-0051 守山市三宅町10番地 (守山市民運動公園内)  
TEL:077-583-9680

**ほたるの散策コース 距離約3km**  
(守山駅~ほたるの森資料館)  
■守山駅~銀座西交差点/約800m  
■銀座西交差点~守山市民立図書館/約1300m  
■守山市民立図書館~ほたるの森資料館/約900m

**もびかの家**



**夢灯 (ゆめあかし) 6月5日(日) 19:30~21:30** ※雨天の場合 12日に順延  
~子どもたちの夢と被災地への祈りを込めた幻想的な灯がまちを照らします~  
守山のホタルのキャラクターである「もびか」、「モーリー」のぬりえを印刷した和紙を守山市内の保育園・幼稚園・小学校の子どもたちに事前に配布し、願いごとや夢、そして東日本大震災の被災地への想いを込めたメッセージを書いてもらいます。  
それをペットボトルを利用したフロートキャンドルに貼り付け完成した手作りキャンドルを夢灯開催場所に持ってきてもらいます。(開催場所はHPをご覧ください)  
あたりが暗くなり、ほたるの灯が灯りはじめるとともに、子どもたちの願いと被災地への想いが込められた「夢灯」がまちを幻想的に照らします。  
※おとなの方の参加、また当日参加もOKです。開催当日現地スタッフにお問い合わせ下さい。当日参加の方は、24のペットボトルを必ずお持ち下さい。



**Hotaru Eco Bus** ほたるエコバス  
守山ほたるパーク&ウォーク期間中の金・土・日曜日、守山駅と守山市民運動公園を往復し、ほたるのスポットを巡るエコバスを運行します。(雨天時は運行を見合わせる場合がございます。)

- A 守山駅** 約3分(約500m)
- B 守善寺** 約1分(約450m)
- C 三津川河川公園** 約2分(約700m)
- D 目田川河川公園** 約4分(約600m)
- E 守山市民運動公園**



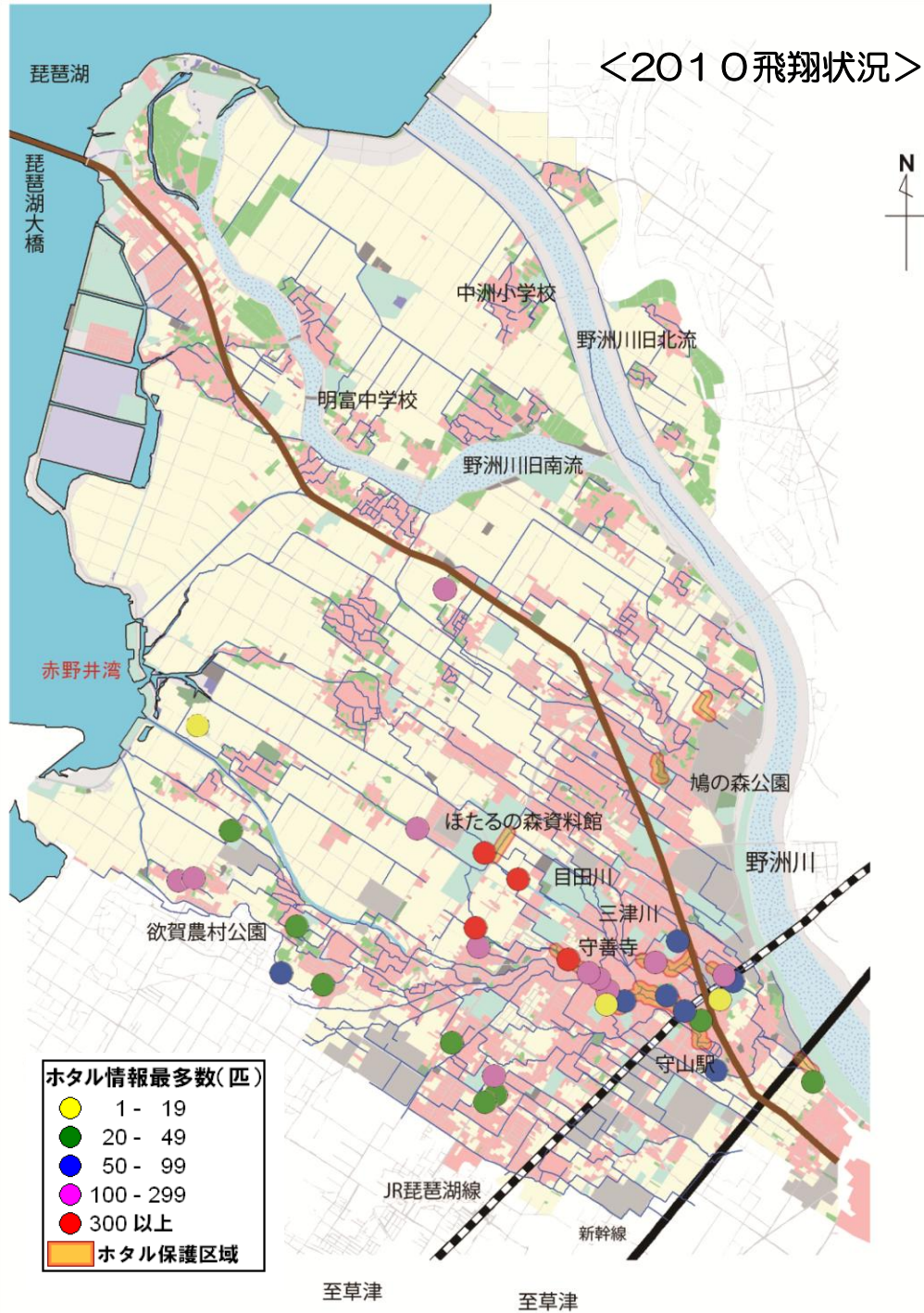
- **ほたるエコバス運行時間**  
19:30~22:00まで(15分毎に運行・1日11便)  
※最終便は22:00に「守山駅」と「守山市民運動公園」を出発します。
- **環境協力金 300円**  
フリーパス券です。お気に入りのスポットを探して楽しんでください。  
※小学生以下は無料です。
- **ほたるエコバスはBDFを使用しています。**  
BDFとは、植物性の油を原料にしたディーゼルエンジン用燃料です。
- **お車で越越しの際は**  
守山市民運動公園駐車場をご利用ください。  
※駐車場は金・土・日のみ利用可能です。  
※駐車料金は無料です。

- **ほたる飛翔地**  
※例年の実績を踏まえて飛翔地を記載しており、ほたるの飛翔をお約束するものではありません。気候その他条件により、飛翔地に多少の変動がありますことをあらかじめご了承ください。
- **ほたるエコバス運行路線**
- **ほたる散策コース**  
※のぼり・看板を参考に散策ください。  
※散策コース移動時には運行車両に注意してください。
- ★ **スタンプラリーポイント**
- ♣ **トイレ**



縮尺 1:10,000  
0 250 500m





### <2010 飛翔状況>



守善寺前(金森川)



浮気町里中(守山川)



酒蔵前(伊勢戸川)



目田川モデル河川(目田川)



ほたるの森資料館



東門院(金森川)

## ほたる飛翔場所



三津川河川公園(三津川)



蓮正寺横(境川)



今宿土橋下流(吉川)

### マップのデータについて

#### 調査期間

2010年5月15日～6月20日

#### 調査地点数

59 地点  
調査期間中 44 名の市民が調査に参加した。

#### マップの表示数

得られた情報の中で最も多い数を記録した。

#### ほたるの数について

ほたるは点滅・草の陰・飛翔により正確に数えるのは非常に難しいが、あえてほたるの匹数の情報を市民から提供してもらった。



ほたるの森資料館  
キャラクター「もびか」

**継続的なホタル飛翔のために！**

**1 適当な暗さと飛翔空間**

(5月中旬～6月中旬)

ホタルは、夜の街路灯や防犯灯が明る過ぎると、どこかに飛び去ります。(新聞が読みづらい程の暗さが必要です。) ホタル(成虫)の平均寿命は、オスが約10日、メスは約14日です。休息等のための樹木や植物が必要です。

**2 水辺の苔(5月下旬～6月下旬)**

メスのホタルは、交尾後約3日で水辺の苔に約500～800個の卵を産みます。適当な苔が無いと、どこかに産卵しますが、孵化の確率が低下します。

**3 小さなカワニナ(6月下旬～7月下旬)**

孵化した幼虫は、体長が1.5～2mmで、エサになる同程度のカワニナが必要です。

**4 適当な大きさのカワニナ**

(8月初旬～3月下旬)

幼虫は春になるまでに30mm前後の大きさになりますが、幼虫の成長に合った大きさのカワニナが順次必要です(約1個/週)。

**5 岸に柔らかい土**

3月末から4月中旬の雨の夜、さなぎになるために川岸に上陸しますが、岸に保水性・通気性の柔らかい土がなければ、幼虫の体は柔らかいので土にもぐれません。

**6 適当な雨**

土にもぐった幼虫は、約50日で羽化(成虫)し、土の中から出てきます。

上記の条件が、ホタルの成長に合った必要な時期になければ、そこで絶えてしまうおそれがあります。

**調査作成**

■ NPO 法人びわこ豊穰の郷  
〒524-0041 滋賀県守山市勝部 5-10-25  
TEL・FAX 077-583-8686  
URL: <http://www.lake-biwa.net/akanoi/>  
E-mail houjyou@lake-biwa.net

■ 守山市ほたるの森資料館  
〒524-0051 守山市三宅町10番地  
(市民運動公園内)  
TEL・FAX 077-583-9680  
URL: <http://www.lake-biwa.net/hotaranomori/>  
E-mail hotaru@lake-biwa.net

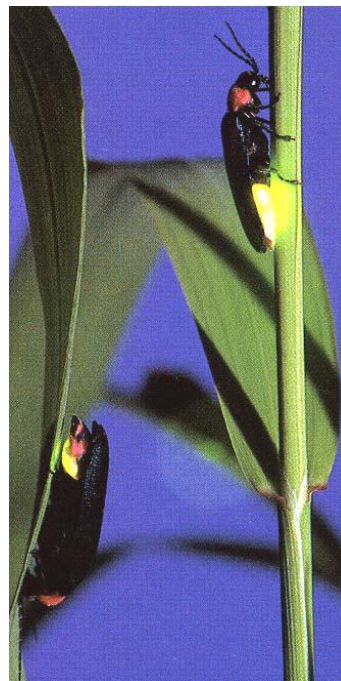
■ ほたる会  
事務局(ほたるの森資料館)

**守山市民による**

**ほたるマップ**

**2011**

発行/2011年3月



ホタルの卵



ホタルの幼虫

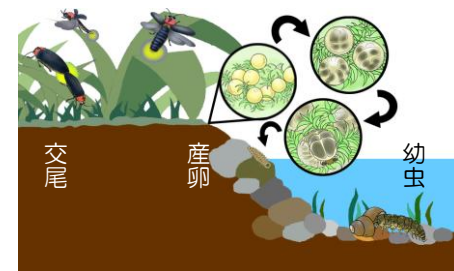


**ほたるマップ作成の趣旨**

- 1 市民からホタルが飛んでいる情報を電話等で提供していただき、ホタルを通して、河川や水環境について関心を深めてもらう。
- 2 市内で飛び交うホタルを、広く市民に知らせ、市民の誇りとして、大切に保護していただく。
- 3 ホタルの発生状況の推移や環境保全の経年変化など調査研究の資料とする。

NPO法人 びわこ豊穰の郷

**ゲンジボタルの一生**



6月 7月 12月

**ホタル専門家のコメント**

龍谷大学理工学部

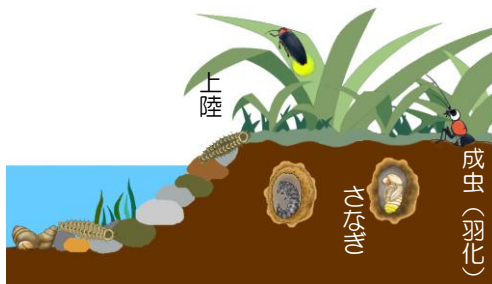
教授 遊磨 正秀

一度は守山からその姿を消したホタル。そのホタルは今、とりわけ市街地に近いところに戻って来ました。その様子は、より多くの方々から情報が集まれば集まるほどより詳細にわかるようになります。でも、多いか少ないかといった状態は年による違いも自然と生じますから、長い目で観察を続ける必要があります。

そして、そのような情報を毎年積み重ねていくと、こういったところがホタルたちにとって快適なのか、という点もより明らかになります。さらに10年、20年と情報が蓄積されると、環境改善や、地域開発との関係もみえてくることでしょう。ホタルはその光が美しいだけでなく、環境の質を私たちに訴えかけてくれる親しい生き物です。ぜひ息長く情報蓄積活動を続けていただくことを願っています。



園児が作ったほたるの歌を大合唱



3月 4月 5月 6月

**NPO法人びわこ豊穰の郷**

ほたる委員会リーダー 吉川 正信

私たちの活動では自然に近い状態でホタルの飼育・増殖を通して、ゲンジボタルとカワニナ等に適切な水辺の自然環境を学んでいます。

さらには市内のホタルの自然発生をうながすために、飼育したホタルの幼虫の放流を行っています。

後に見に来る人、明日来る人、また来年も楽しむために、次世代に託すホタルの捕獲はしないようにお願いします。



**守山市ほたるの森資料館**

副館長 古川 道夫

守山市ほたるの森資料館には一本のほたるの川があり、初夏の宵多くのゲンジボタルの飛翔が見られます。

ここはホタル保護区域でもあり、地下水を水源とし、木々に囲まれた昔の川をほうふつとさせる場所です。一年をとおして植物、生物および水辺環境の維持管理をしながら、将来ホタルが自然発生することを目指して努力しています。

ホタルを観察したり鑑賞したりすることで、自然と人間について深く考える人がひとりでも多くなり、理想的な河川環境ができあがっていくことを希望しています。